

2021年度 一日ドック基本検査項目表（健保連人間ドック健診項目表）

	区分	項目	備考
必須項目	身体計測	身長	
		体重	
		肥満度	
		BMI	
		腹囲	
	生理	血圧測定	原則2回測定値と平均値
		心電図	
		心拍数	
		眼底	両眼撮り
		眼圧	
		視力	
		聴力	簡易聴力
		呼吸機能	1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
	X線・超音波	胸部X線	2方向
		上部消化管X線	食道・胃・十二指腸。4ツ切等8枚以上 *1
		腹部超音波	検査対象臓器は肝臓（脾臓を含む）・胆のう・膵臓・腎臓・腹部大動脈とする。但し、膵臓検出できない時はその旨記載すること。
	生化学	総蛋白	
		アルブミン	
		クレアチニン	
		eGFR	
		尿酸	
		総コレステロール	
		HDLコレステロール	
		LDLコレステロール	
		Non-HDLコレステロール	
		中性脂肪	
		総ビリルビン	
		AST（GOT）	
		ALT（GPT）	
		γ-GT（γ-GTP）	
		ALP	
	血糖（空腹時）		
	HbA1c		
血液学	赤血球		
	白血球		
	血色素		
	ヘマトクリット		
	MCV		
	MCH		
	MCHC		
	血小板数		
血清学	CRP	定量法	
	血液型（ABORh）	本人の申し出により省略可	
	HBs抗原	本人の申し出により省略可	

必須項目	尿	尿 一 般 ・ 沈 渣	蛋白・尿糖・潜血など 沈渣は、蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
	便	潜 血	免疫法で実施(2日法)
	問診・診察	医 療 面 接	医療職が担うこと(原則、医師・保健師・看護師とする) 問診票(質問票)は、特定健診対象者には特定健診質問票 22項目を含むこと。
		医 師 診 察	胸部聴診、頸部・腹部触診など。 *2
	判定・指導	結 果 説 明	医師が担うこと。 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2
		保 健 指 導	医療職が担うこと(実施者は「特定健康診査・特定保健指導の 円滑な実施に向けた手引き(第3版)」に準ずること。医師の 結果説明の間での実施も可とする) 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2
オプション項目	上 部 消 化 管 内 視 鏡		*3
	乳 房 診 察 + マ ン モ グ ラ フ ィ		乳房診察は医師の判断により省略することも可。
	乳 房 診 察 + 乳 腺 超 音 波		
	婦 人 科 診 察 + 子 宮 頸 部 細 胞 診		検体採取は医師が実施すること。
	P S A		
	H C V 抗 体		*4
*1 X線検査を基本とする。本人及び保険者から内視鏡検査の申し出があった場合は、オプション項目に掲げる金額を加算し実施する。			
*2 診察・説明・指導は、施設の実状を踏まえた効率的な運用を認める。なお、原則として医師による診察と結果説明は別々に行うこと。			
*3 内視鏡検査を行う際は、別途、十分な説明のもとに本人から文書同意を取得すること。原則、鎮痛薬・鎮静薬は使用しない。			
*4 厚労省の肝炎総合対策に基づき、未実施の場合は実施を推奨する。			

<補足>

梅毒検査は、本契約における基本検査項目およびオプション検査項目には含まれないが、受診者本人の申し出により実施することは妨げない。

2021年度 二日ドック基本検査項目表

	区分	項目	備考
必須項目	身体計測	身長	
		体重	
		肥満度	
		BMI	
		腹囲	
	生理	血圧測定	原則2回測定値と平均値
		心電図	
		心拍数	
		眼底	両眼撮り
		眼圧	
		視力	
		聴力	簡易聴力
		呼吸機能	1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
	X線・超音波	胸部X線	2方向
		上部消化管X線	食道・胃・十二指腸。4ツ切等8枚以上 *1
		腹部超音波	検査対象臓器は肝臓（脾臓を含む）・胆のう・膵臓・腎臓・腹部大動脈とする。但し、膵臓検出できない時はその旨記載すること。
	生化学	総蛋白	
		アルブミン	
		クレアチニン	
		eGFR	
		尿酸	
		総コレステロール	
		HDLコレステロール	
		LDLコレステロール	
		Non-HDLコレステロール	
		中性脂肪	
		総ビリルビン	
		AST (GOT)	
		ALT (GPT)	
		γ-GT (γ-GTP)	
		ALP	
	血糖 (75gブドウ糖負荷試験)	血糖3回 (0, 60, 120分) 明らかに糖尿病と判明している場合は省略し「空腹時血糖」を実施	
	HbA1c		
	血液学	赤血球	
		白血球	
		血色素	
ヘマトクリット			
MCV			
MCH			
MCHC			
血小板数			
血清学	CRP	定量法	
	血液型 (ABO Rh)	本人の申し出により省略可	
	Hbs抗原	本人の申し出により省略可	

必須項目	尿	尿 一 般 ・ 沈 渣	蛋白・尿糖・潜血など 沈渣は、蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
	便	潜 血	免疫法で実施(2日法)
	問診・診察	医 療 面 接	医療職が担うこと(原則、医師・保健師・看護師とする) 問診票(質問票)は、特定健診対象者には特定健診質問票 22項目を含むこと。
		医 師 診 察	胸部聴診、頸部・腹部触診など。 *2
	判定・指導	結 果 説 明	医師が担うこと。 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2
保 健 指 導		医療職が担うこと(実施者は「特定健康診査・特定保健指導の 円滑な実施に向けた手引き(第3版)」に準ずること。医師の 結果説明の間での実施も可とする) 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2	
オプション項目	上 部 消 化 管 内 視 鏡		*3
	乳 房 診 察 + マ ン モ グ ラ フ ィ		乳房診察は医師の判断により省略することも可。
	乳 房 診 察 + 乳 腺 超 音 波		
	婦 人 科 診 察 + 子 宮 頸 部 細 胞 診		検体採取は医師が実施すること。
	P S A		
	H C V 抗 体		*4
*1 X線検査を基本とする。本人及び保険者から内視鏡検査の申し出があった場合は、オプション項目に掲げる金額を加算し実施する。			
*2 診察・説明・指導は、施設の実状を踏まえた効率的な運用を認める。なお、原則として医師による診察と結果説明は別々に行うこと。			
*3 内視鏡検査を行う際は、別途、十分な説明のもとに本人から文書同意を取得すること。原則、鎮痛薬・鎮静薬は使用しない。			
*4 厚労省の肝炎総合対策に基づき、未実施の場合は実施を推奨する。			

<補足>

梅毒検査は、本契約における基本検査項目およびオプション検査項目には含まれないが、受診者本人の申し出により実施することは妨げない。

ご参考

日本人間ドック学会 2021. 4. 1

- ①当検査項目は、「健保連人間ドック健診」の指定に関わる諸団体（※）との協議により決定しております。

※日本人間ドック学会・日本病院会・日本総合健診医学会・全日本病院協会・健康保険組合連合会合意の推奨項目となります。

■人間ドック指定施設

健保連等の保険者に対して、日本人間ドック学会・日本病院会連名の指定を受けている施設におかれましては、当検査項目の実施体制があることが必須となりますのでご対応をお願い申し上げます。

■人間ドック健診施設機能評価認定施設

申請条件として、当検査項目を満たす受診者が一定数必要です。ご確認をお願い申し上げます。

■上記以外の健診施設

当検査項目の実施は必須ではありませんが、ベーシックな人間ドック検査項目としてご参考ください。

②変更履歴

2018年度に行われた基本検査項目改訂のポイント（2018年度以降、項目内容に変更なし）

1. 2018年度の特設健診項目を満たすよう、「eGFR」と「Non-HDLコレステロール」を追加。
2. 人間ドックにおいて重要な「医療面接（問診）」「医師診察」「結果説明」「保健指導」を項目に明記。
3. 上部消化管検査はX線を基本とするが、利用者から申し出があった場合はオプションとして実施出来るよう、オプション項目に上部消化管内視鏡を追加。（注釈*3を遵守し適切に実施すること）
4. 「乳房触診+乳房画像診断」→「乳房診察+マンモグラフィ」「乳房診察+乳腺超音波」の2項に変更。備考に「乳房診察は医師の判断により省略することも可」と記載。
※3・4は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（厚労省）を踏まえての変更。
5. 梅毒検査は、職域の健診における検査項目としては含まないこととし、項目表から削除。

2020年度の表記変更

1. 表の上欄「検査項目」→「項目」に変更（医療面接や医師診察等、検査でない項目が含まれるため）
2. 表の左欄「基本検査項目」→「必須項目」に変更（1と同様の理由）
3. 表の左欄「オプション検査項目」→「オプション項目」に変更
4. 区分欄に「問診・診察」「判定・指導」を追加（検査以外の医療職の関与を明確にするため）

※定義を明確に整理することを目的とした変更です。これらの表記変更は、健診施設や保険者等におけるシステムや結果表等の表記変更を義務付けるものではありません。

以上